

リキモリ A/Cクリーニングシステム ルノー・カングー 施工例

このクリーニングガンは、特別に設計された先端が 360°ノズル仕様のスプレープローブにより、エバポレーターの表面全体に処理が施されます。エアコンシステムクリーナーは圧縮空気によって、360°ノズルを介してエバポレーターのフィンに万遍無く吹き付けられます。つまり、エバポレーターには他の製品のように香りが付けられるのではなく、フィンの間が完全に洗浄され、エアコンシステムからバクテリア、カビ、病原菌など全ての付着物が除去されます。除去後はエバポレーターに保護膜を形成しクリーンな空気が供給されます。クリーニング溶剤に添加するフレグランスにより爽やかな香りと、洗浄後の抗菌効果は長期的に持続します。



1. 洗浄中は窓を開け、蒸気を吸い込まない用にしてください。
2. コンデンサーの水抜き穴が開いている事を確認し、ドリップパンを穴の下に入れ洗浄作業を行います。
3. 洗浄前にエバポレーターの表面を乾燥させるため、以下の手順をお願いします。
エアコンのスイッチを切り、給気を循環モードに切り替え、温度ダイヤルを最大にし、配気スイッチを足元(下側)に向けブロワスピードセレクトスイッチを最大にしてください。
4. 車を駐車する。
5. エンジンルームの右側面、フロントガラスの前にあるカバーを取りエンジンルームの右側、ウィンドスクリーンの前にあるカバーを取外します。
6. ブロワモーターの上にある下カバーを外し、フィルターを取り出します。
7. 洗浄ガン&タンクにエアコン洗浄溶剤(No.20915 2K A/C SYSTEM CLEANER)を1リットル注入し付属のフレグランス2袋添加します。
8. クリーニングガンをエバポレーターの方向に向けてハウジングの開口部に挿入します。
9. クリーニングガンを起動し、約0.75リットル溶剤を使用してプローブをエバポレーター全体に往復させて汚れを洗浄します。
10. ガン内に残っているクリーナーを使って、ドレンホースにスプレーしたり、エバポレーターを更に清掃して下さい。
11. 洗浄終了後すぐに洗い流さず15～20分ほど浸しておく、バクテリアや雑菌などの細菌類を全て死滅させます。
12. エアコンフィルターを装着します。汚れていたら交換して下さい。
13. エアコンフィルターやブロワモーターなどのカバー類を取り付けます。
14. 以下の手順で乾燥させて下さい。
エバポレーターを乾燥させます。エアコンのスイッチを切り、車内循環モードに切り替え、温度ダイヤルを最大にして、吹き出し口を足元方向(下側)に倒して送風機を最大にします。エンジンを始動させた状態で10分間アイドリングさせて下さい。